



訓練はきつい時もあったけど、それ以上に得ることができた仲間との絆

会社員／高橋 佑弥さん(尾張旭市)

消防団長さんから消防団活動の話を聞く機会があり、その熱意に打たれ入団を決め、地域を守る消防団員の一員として活動しています。

消防操法大会にも出場しました。訓練はきつい時もありましたが、たくさんの先輩団員のサポートに助けられながら訓練を重ねることで、目標に向かい消防団一丸となって取り組む姿勢や選手たちとの絆の深まりを強く感じることができました。今後は、先輩団員からもらったアドバイスやサポートを、新たに入団する後輩団員へ同じように行なうことができるよう、訓練に一生懸命頑張りたいと思っています。

メッセージ

大学生の時に入団しましたが、普段の大学生活ではなかなか交流することのないような世代の方と、同じ消防団の仲間として活動することができ、学ぶことがたくさんありました。何かを始めたいと考えている方や地域に貢献したいと思っている方は、是非消防団にお越しください。



熱中するものを見つけて、誰かの役に立ちたい、その思いを胸に入団

公務員／川合 萌恵美さん(長久手市)

パンフレットを見て、初めて女性消防団が活動していることを知り、何か熱中するものを見つけたい、それが地域貢献に少しでもつながれば、という想いから入団を決めました。今は消防団広報と防火啓発をメインに、救命講習や消火器の使い方を学んだり、軽可搬ポンプを使って放水をしたりと、万が一の時に備えた訓練を行っています。

広報活動の際や、防火啓発でご年配の方のお宅に訪問した際に、励ましの言葉や感謝の言葉をいただいた時は、消防団に入って本当に良かったと思思います。まだ入団して2年目ですが、これからは自ら率先して動き、より一層活動に貢献したいと思っています。

メッセージ

消防団活動は時に大変だと感じることもありますが、その分、普段では経験できないようなこと、強くやりがいを感じること、地域のため、何より自分のためになることがたくさんあります。是非一步踏み出して入団していただきたいです。

私たちと一緒に活動しましょう！



誰かの役に立ちたい、その思いを胸に西尾市初の女性消防団員に

団体職員／加藤 あゆみさん(西尾市幡豆消防団)

地震や豪雨といった災害のニュースを見聞きするたびに、少しでも誰かの役に立つことができたらと思い、知人の薦めもあり入団を決めました。

所属する西尾市幡豆消防団では、火災を想定した放水訓練、管轄区域の消火栓や桶門・防潮扉の点検、自主防災会の指導を男性団員同様行っているほか、女性消防団員の皆さんと一緒に普通救命講習会の普及員として指導をしています。

今後は大規模災害に備えて、女性ならではの活動の意義を見つけて、活動現場で実践できるよう取り組んでいきたいと思っています。

メッセージ

日常生活の中では触れる事の少ない機械や器具の扱い方、防災知識など、様々なスキルを身につけることができます。見聞を広め、多くの人々と触れ合うチャンスだと思いますので、自身をブッシュアップしたいと考えの方は、是非入団してください。

大学のゼミで消防団体験をしたことが入団するきっかけに

大学生／天野 健太郎さん(長久手市)

地元の市役所で消防団員が不足しているという話を聞き、大学のゼミで自ら企画した消防団体験が入団するきっかけになりました。

消防団では月2回の訓練、夜警のほか、広報活動や市民の方々に消火器の使用方法を教えるなどの防災訓練を行っています。

消防団に入ったことで地元の方々とつながりを持つことができ、私にとってかけがえのない財産となりました。今は就職活動とアルバイト、学業に消防団と、忙しくも充実した日々を送っています。大学卒業後も消防団で頑張っていきたいと思います。

メッセージ

大学生の皆さんに入団をお勧めします。忙しいこともあるかもしれません、参加できる時に参加するだけでも、その行動がきっと防災につながります。楽しいですよ！

あなたの住む街を守る消防団

消防団は、消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される消防機関です。消防団員はそれぞれの仕事を持ちながら、地域防災の担い手として、火災などの災害時の活動、平時の訓練、防火啓発活動などに従事し、地域に密着した活動を行っています。



消防団の活動

平常時の活動

消防訓練

いざという時に備えて、訓練は欠かすことができません。消防団員は働いている人が多いため、訓練は集まりやすい早朝や夜に行われます。

救命講習会

急な疾患やケガに、誰もが素早く適切な処置を行うことができるよう、心肺蘇生法やAEDの使用方法などの応急手当の普及・指導を実施しています。

防火啓発活動

学校や町内会の集まりなどに出向き、消防訓練や避難訓練といった防災啓発を行うほか、高齢者のお宅を訪問し、防火啓発や、災害時に支援が必要な方の把握に努めています。

災害時の活動

消火活動

火災発生時、消防団員は現場に駆けつけ早期鎮火に努めます。また、火災現場が混乱しないように、交通整理などの後方支援も行います。

救助活動

地震などの自然災害発生時、迅速かつ的確に救助・救出活動を行います。地形や道路網などを熟知している消防団員は貴重な存在です。

水防活動

台風や集中豪雨で河川が氾濫したり堤防が決壊したりしないよう、土のう積みなどの水防活動を行い、被害の軽減に努めます。

主な制度

消防団応援の店制度

あいち消防団応援の店

「消防団員カード」や「消防団員証」などを県内の協力店舗・施設「あいち消防団応援の店」で提示すると、お店が独自に設定する商品の割引やサービスなど、様々な特典を受けることができます。



QRコード
(検索サイト)

ステッカー
(ステッカー)

全国消防団応援の店

県外の「全国消防団応援の店」でも、商品の割引やサービスなど、様々な特典を受けることができます。

詳しくは公益財団法人日本消防協会のホームページをご覧ください。



ロゴマーク
(ロゴマーク)

学生消防団活動認証制度

「学生消防団活動認証制度」は、消防団員として活動した学生に対し、市町村長が「学生消防団活動認証証明書」を交付するものです。

この証明書は就職活動の自己PRなどで活用できます。



下記の者は、東日本大震災の際に消防団員として活動し、被災した家庭の復興や、被災者の多くが負傷致しましたことにより、○○市(町村)学生消防団活動認証証明書を受けた者であることを証します。
氏名：○○○○
(生年月日) 年代：○○歳
(会員登録)

平成○○年○○月○○日
○○市(町村) ○○○○

〈認証証明書〉(イメージ)